

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.318

発行日 平成18年(2006年)5月15日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 施政方針・代表質問……………2-3面
- 予算特別委員会審査概要……………4-5面
- 一般質問……………6-7面
- 議会改革検討結果……………7面
- 議案の審議結果一覧……………8面
- 政府等への意見書、決議……………8面
- 陳情審議結果……………8面

第一回 市議会定例会

三月一日から開かれた第一回定例会は、三月三十日に閉会しました。今議会では、市長の平成十八年度施政方針演説、これに対する七人からの会派代表質問、平成十八年度各会計予算などの審議や議決のほか十五人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わられました。また、平成十八年度武蔵野市一般会計予算が否決されたため、暫定予算が提出され、可決されました。その他三十九件の議案の審議・議決が行われました。

平成十八年度一般会計予算を否決

四特別会計・一企業会計は可決 一般会計は暫定予算を可決

総額五百三十一億円の平成十八年度一般会計予算が、三月三十日の本会議で否決されました。これにより一般会計は五月末までの暫定予算を可決し、現在、継続的な事務事業についてのみ予算執行しています(三面に施政方針、二・三面に代表質問、四・五面に予算

特別委員会審査概要及び討論を掲載)。

平成十八年度一般会計予算から、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・介護保険事業会計の四特別会計予算、水道事業会計予算(企業会計)までの各予算案については、十四名(うち一名は二十

二日に辞任)の委員会からなる予算特別委員会(三月七日に設置)に付託され、審査を行いました。十六日開会の同委員会で正副委員長が互選され、続く十七日から実質六日間にわたって審査されました。

三十日の本会議では、近藤和義予算特別委員長より委員会における審査の概要について報告があり、その後、報告に対する質疑、討論が行われ、討論終了後の起立による個別採決の結果、一般会計予算を除く各予算が可決され、その後上程された平成十八年度一般会計暫定予算が可決されました。

新しい介護保険料 決まる

五段階から十段階へ
きめ細やかに

三月十六日の本会議で、「武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例」が可決されました。

本条例案は、要介護状態になってからの事後的な対応ではなく、要介護状態にならないための予防や状態の改善に重点を置く、国の介護保険制度の見直しに対応し、平成十八年度から二十年度までの第三期介護保険事業計画期間の新たな保険料を定めるものです。これにより、基準額が月額三千七百円から四千七百円となりました。

ただし、比較的所得の少ない方には低廉な負担にしていくという基本的な考え方に立って、これまで所得に応じて五段階となっていた六十五歳以上の被保険者の保険料を、よりきめ細やかに十段階としました。

本条例案は、三月七日の本会議で厚生委員会に付託され、三月十三日の同委員会で全会一致で可決すべきものと決し、三月十六日の本会議では厚生委員長報告の後、採決の結果全会一致で可決されました。

Photo Gallery

フォトギャラリー



●市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を一面に掲載しています。次回の応募要領については、8面をごらんください。



【三百十七号訂正記事】
二月一日発行の議会だより三百十七号一面の「防災・安全センター(仮称)等の工事請負契約を可決」の記事中、四議案について「本会議で全会一致で可決」とありますが、正しくは「本会議で賛成多数で可決」でした。お詫びして訂正いたします。

施政方針を質す

代表質問

第1回定例会の2日目の3月3日、市長の施政方針に対して、7名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

「施政方針」は、武蔵野市役所のホームページ (<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/guide/menu/m0469.html>) でご覧いただけます。また、市役所2階の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

田中節男議員 ● 自由民主党クラブ

縮小ありきの武蔵野プレイス(仮称)見直し案に反対する



Setsuo Tanaka

問 武蔵野プレイス(仮称)について、①長期間の議論、十分な市民参加の上で完成した基本設計に対して市長が縮減案を提案した根拠を伺う②オープンハウス等での市民意見で規模縮小は少数だ。少数の意見をもとに決定することが「大事なことは

市民と決める」ことか③都条例で駐車場の付置義務があるにもかかわらず、例外規定により隔地駐車とすることは今後のまちづくり指導へ重大な影響があると思うが見解を伺う。

答 ①オープンハウスのアンケート等から課題を拾い上げた結果、施設の工夫により、機能を維持した上での規模の縮減が可能であると考えた②多数決で決める話ではない。どのような課題があるのか、工夫があり得るかを聞いた③渋滞等の交通事情からやむを得ず隔地駐車とするもので、

民間指導に影響はない。

問 中学校給食について、十八年度に設置される検討委員会のメンバーについて伺う。

答 専門家、教育委員会関係者、PTAの代表、公募委員による構成を考えている。

問 今回施政方針で示された調整計画の大規模な見直しは作業が間に合うか疑問であるが、具体的な策定方法を伺う。

答 長期計画の五つの分野ごとに公募委員とコーディネーターから成る市民会議を設置する。市、議会、市民と随時意見交換しながら進めていく。

問 セカンドスクールを見直すことだが内容を伺う。

答 体験活動の内容、教育活動との関連、期間など、より充実させるため見直ししていく。このほか、国際交流、居宅サービス促進事業等についての質問がありました。

松本清治議員 ● 民主・市民ネット

補助金制度の適正化 ゼロベースからの再点検を



Seiji Matsumoto

問 補助金制度の現状は、補助目的の希薄化や形骸化・既得権益化等の問題を内在しており、補助金の固有財源化など、長期化による弊害もあると考える。これらの適正化は本市の財政運営の健全化や協働の取り組みを促進する上で重要な課題であり、今こそ補

助金をゼロベースより再点検するべきと考えるが、改革手法とあわせて見直しを伺う。

答 補助金の見直しについては、第三者委員会に評価を受けることを考えている。多様な補助金すべてを対象としてきちんと評価を受けたい。

問 市民や市内NPO等の社会貢献活動が評価される仕組みづくり、活動拠点の整備等、住民協働事業を支援していくべきと考えるがいかがか。

答 NPO活動促進計画策定のための委員会を立ち上げた。この中で市の担うべき役割、必要な支援策等を定めていく。

問 駐輪場建設補助金等を利用して地下駐輪場建設の検討、市民参加での暴走自転車対策を提案するがいかがか。

答 地下駐輪場についてはコストが問題であるが、補助金制度があるなら大いに参考としたい。暴走自転車対策は、一般市民のみならず若者からも意見をいただくなど市民の協力を得たいと考えている。

問 市内水害被害の原因を徹底究明すべきではないか。

答 プロジェクトチームにより原因整理を進めている。

問 水害被害と闘う市民を行政が支え、相互信頼関係を築くべきと考えるがいかがか。

答 市民とともに水害解決に向けて研究していきたい。このほか、緑町と桜堤の都市再生機構の家賃問題等についての質問がありました。

土屋美恵子議員 ● 市議会市民クラブ

今後の武蔵境のまちづくりを強く危惧



Mieko Tsuchiya

問 武蔵野プレイス(仮称)については、長期間にわたって市、市議会、市民の三者によって検討が重ねられてきたにもかかわらず、今回あまりに短期間で縮減案が出された。そこで、①取得した一等地を十分に活用できないのではな

設置する案は今後の武蔵境のまちづくりをおかしくしてしまうと危惧するが③周辺施設だけでは災害時の備蓄品が足りない。一時避難所としての機能が求められているのでは。

答 ①限度いっぱい建てるのではなく、いかに機能的な施設をつくるかが大切だ②つくり方次第であり、必ずしもマイナスではないと考える③公共施設として緊急時には当然対応・利用すべきと考える。

問 市政運営の基本理念として市民の声を聞くことが大切と述べているが、いかなる手法で声を吸い上げていくのか。

答 職員に対して、それぞれの業務を踏まえどのような市民参加が可能なかを考えつつ地域に出るよう指示している。市民の代表である議会を通じてもお聞きしていきたい。

問 子育て支援について、ひとり親家庭や子育てに不安を持つ親がふえており、行政としてさまざまな面でアドバースできるような施策を充実していきたいと考える。

答 このほか、自治体の自立に対する経営手腕、市民参加方式、子育てに優しいまちづくり、境幼稚園事業、防犯ボランティア団体等についての質問がありました。

本間まさよ議員 ● 日本共産党武蔵野市議団

介護保険・障害者福祉の低所得者対策を問う



Masayo Homma

問 介護保険料の改定について、①低所得者の保険料値上げを抑える施策を考えないのか②介護保険利用者への説明会を設ける考えはあるか。

答 ①介護保険料率を十段階に定めたことで、最大格差は従来の三倍から四、四倍とな

る②四月以降に各地域で説明会を開催する予定だ。介護保険について意見交換の場を設けたいが、今後の検討課題だ。

問 障害者福祉施策の低所得者対策と市の独自の対策について伺う。

答 激変緩和措置として、食事費の人員費部分の負担のうち、二百円を社会福祉法人に補助する。都の住宅介護の利用者負担七割助成制度の活用や居宅介護高度援助通所施設デイサービス利用に対し低所得で基準額以下の者に月額上限の半額を補助する制度を予定している。

問 中学校給食の実施について、①検討委員会の検討内容は②プロジェクトチームの役割は③施政方針中の「学校給食法に基づく給食が可能なか」「良質な給食のあり方を検討」とは何を意味するのか。

答 ①委員会には給食や教育の専門家、PTA、給食問題に関心を持つ公募市民に入ってもらいたい。委員の構成、プログラムについて検討を進めているところだ②現在実施している小学校給食の課題、設備や給食センター等の余剰能力等の課題、周辺自治体の中学校給食の運用状況や課題を整理している③給食法に基づくものとするかどうか、検討委員会の検討を待ちたい。

このほか、三位一体改革による影響、公立保育園改革と保育の質について等の質問がありました。

きちつと議論し、時代に ふさわしい中学校給食を

田辺あき子議員 ●市議会公明党



Akiko Tanabe

問 教育委員会が示した「教育的観点から中学校給食は実施しない」との方向性が、本市で給食を導入しない大きな理由だ。教育委員会の位置づけと役割に対する認識を問う。
答 市とは独立し、教育全般にかかわる議論の場である。

問 市長は「大事なことは市民と決める」と断言したが、市民の意見も聞かず、教育委員会での十分な議論も踏まえ、中学校給食の実施検討の予算を計上するのは疑問だ。
答 中学校給食は市長選挙で各候補者が公約に掲げ、市議会でも決議を得ている。合意はなされていると思う。教育委員会には再度議論いただく。
問 子どもの食環境研究会の報告やあつせん弁当の現況も含め、中学生の昼食のあり方はどのような形が望ましいと考えるか。
答 育ち盛りの子どもにも栄養

価の高い昼食を与えたい。弁当も併用できる昼食サービスを提供したい。
問 平成十九年度実施では安易な導入になるのではないか。
答 来年度中に実施したい。
問 施政方針に「市民参加とは、単に行政に意見や要望を言うだけでなく、実現に向けた責任ある参加までも期待するもの」とあるが、ここでいう市民の責任とはどこまで責任を指すのか。
答 意見・要望を言うだけではなく、その結果である施策運営の中にも参加していただくということである。
問 このほか、調整計画の策定方法、武蔵野プレイス(仮称)の規模の縮小、「良福祉中負担」から「高福祉中負担」と表現を変えた理由、都市部における公園のあり方等についての質問がありました。

武蔵野プレイス(仮称)改定案、 市民意見は反映されているか

近藤和義議員 ●自由民主クラブ



Kazuyoshi Kondo

問 武蔵野プレイス(仮称)について、①二月の委員会ですされた改定案は市民意見を反映したものではなく、当初から結論ありきの案だと感じる。大事なことは市民と決めるという市長の公約に反しないか
②敷地内に駐車場を設置せず

隔地駐車とすることについて東京都条例の付置義務に反すると思うがいかがか。
答 ①オープンハウス等により一定の意見が出された中で、必要な設計の見直しをしたもので公約に合致した方法だと考える②必要な台数を確保し隔地で対応するもので条例違反とは考えていない。
問 固定資産税・都市計画税の軽減により吉祥寺地区の小企業等の活性化が期待されるが、①実施に向けた具体的な計画を伺う②市の歳入への影響が心配されるがいかがか。

問 平成十八年度、境南小学校で試行し、その課題を踏まえて今後の方針を検討する。
問 中長期的・抜本的な市内の浸水対策について伺う。

答 平成十八年度、境南小学校で試行し、その課題を踏まえて今後の方針を検討する。
問 中長期的・抜本的な市内の浸水対策について伺う。



答 ①平成十八年度検討に入り、二十年度の実施を目指す②全体的な財政改革を徹底し、実施の可能性を追求していく。
問 校庭の芝生化は子どもの安全、健康の観点から有効だが全小学校で実施する考えはあるか。
答 このほか、三鷹駅北口開発、ムーバス新路線、壁面緑化、水道事業、子どもの教育等についての質問がありました。

答 市内公共施設において雨水をためていくという方針のもと、十八年度は青葉公園と四小校庭に雨水の貯留浸透施設を設置する。今後、プロジェクトチームの議論を踏まえて、中期計画を作成したい。

大野まさき議員 ●むさしのリニューアール 市民の目線で考え、市民の ために働く市役所改革を期待



Masaki Ohno

問 平成十八年度に長期計画の評価、見直しのため市民会議が設置される予定だが、見直しのポイントは何かを伺う。
答 選挙公約で掲げた中学校給食、自治基本条例等について新たに位置づけたい。
問 市長交際費だけでなく、市ホームページ上で他の部署

の交際費、食糧費についても公開する考えはあるか。
答 今後、検討していきたい。
問 中学校給食プロジェクトチームを立ち上げ、課題の整理が行われているが、具体的な内容を伺う。
答 既に給食を実施している小学校の施設、調理場の設備の課題や中学校給食を実施している他市の実態等である。
問 「涼」環境創出事業と並行して、緊急避難的側面から隣接区市では完備されている幼児クラスの部屋ごとのクーラー設置を検討できないか。
答 近年の異常気象の中では

「涼」環境だけでは耐えがたい面もあり、今後の検討課題ととらえている。
問 学童クラブとあそべえの連携について考えを伺う。
答 学童クラブの校内移動を進めていき、あそべえと遊び・イベント等での連携を具体的に検討していく。
問 施政方針では職員が地域に出て市民の声をよく聞くことが求められているが、具体的な取り組みについて伺う。
答 職員が現場を知らずして市役所の活性化はない。また、現場の職員が意見を言いやすい体制が必要であり、平成十八年度には職員提案制度の改善を実施していく。
問 このほか、教育企画会議、中高一貫校、校庭開放、外環道路、建築確認、ムーバス等についての質問がありました。

市長の施政方針 3つの理念を 市民とともに

【市長が3月1日の本会議で行った「施政方針」の要旨です】

邑上守正市長 Morimasa Murakami



現状認識と基本課題

本格的な人口減少社会を迎える中、自治体の自立に向けたさらなる改革が求められている。政府と自治体は力を合わせて未来に希望の持てる持続可能な社会を目指さなければならない。

市政運営の基本理念

- ①市民が主役の市政を目指して
市民が主役の市政とは、市民自治の実現である。市民参加の機会をふやし、地域とも意見交換を行い、多くの意見を市政に反映させていきたい。
- ②誰もが安心して暮らせるまちへ
都市経営の基礎は安心して暮らせるまちを築くことだ。高齢者や障害者、子育て世代が住みやすい環境づくりを進め、また、防犯面の強化や全体的な水害対策等、まちの防犯力・防災力のアップに努めたい。
- ③持続可能で活力ある都市形成
省エネルギー、緑化推進、ごみの減量・リサイクルなど、環境に配慮した都市形成と、都市の経済活動を支える商業地の維持・活性化が求められている。緑豊かな住環境とにぎわいのある商業地とが連続して調和する「環境都市武蔵野」を目指したい。

市政運営の基本姿勢

平成十八年度予算の骨格として、以下6つの項目に取り組んでいきたい。
①計画行政と市民参加の推進②健全財政の維持と大型施設の見直し③子育て支援の充実と中学校給食の実現に向けた検討④総合的・地域福祉施策の推進⑤安全・安心なまちづくりへの積極的な取り組み⑥市役所改革と危機管理体制の充実。

それ以外の主要な施策

分野別の特徴的な事業として以下の項目を挙げる。
①健康・福祉分野として介護保険料の改定、女性専用外来等の開設など②子ども・教育分野として産前産後ヘルパー事業の試行拡充、市東部地区での一時保育実施など③緑・環境・市民生活分野として緑の基本計画改定、ごみの分別・減量意識を高める啓発活動など④都市基盤の分野として市営住宅の改修、ムーバス新路線の運行計画など⑤行・財政分野としてインターネットによる議会中継、戸籍情報システムの導入など。に取り組んでいきたい。

※1「施政方針」：「平成十八年度施政方針並びに基本的施策」は、武蔵野市役所のホームページ(<http://www.city.musashino.lg.jp/cms/guide/menu/m0469.html>)でご覧いただけます。また、市役所2階の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

審査概要

予算特別委員会は3月7日、委員14名からなる予算特別委員会を設置し、同月16日、正副委員長を選出しました。予算の審査は、3月17日から27日までの実質5日間で審査を行う予定でしたが、3月20日の総務費審査の際、資料の取扱いをめぐる審査が中断し、この結果委員の1人が委員を辞任することになり、3月25日にも総務費の審査を行ったため、実質6日間で終わりました。一般会計は、531億円で、前年度比17億円(3.1%)の減となり、これは、過去5年間で最低となる緊縮型の予算となりました。歳入の根幹をなす市税収入は、定率減税の段階的廃止や老年者控除の廃止などの税制改正等により市民税の増収が予想されるため、前年度比4.3%の増を見込んでいます。また、国庫支出金や地方消費税交付金が増となりますが、市債及び繰入金が大幅な減となるほか、都支出金が減となっています。

以下は各委員から予算執行と行政運営について、活発な議論が行われた予算特別委員会の審査概要です。

※なお、4-5面の予算特別委員会審査概要は、平成18年度予算特別委員会で審査された内容について記載しております。議案第22号「武蔵野市一般会計予算」は3月30日日本会議で否決されたため、5月15日現在、平成18年度武蔵野市一般会計暫定予算が執行されています。

主要な事業

(単位：千円)

◇議会費	
・インターネットによる議会中継の拡大	15,941
◇総務費	
・防災・安全センター(仮称)等西棟増築工事	1,755,789
・武蔵野プレイス(仮称)建設に向けて	53,150
・安全パトロールの充実	83,140
・NPO活動促進基本計画(仮称)の策定	3,330
・第四期長期計画調整計画の策定	11,288
・第三者委員会による事務事業・補助金の見直し	858
・福祉保健部所管三団体再編の検討	1,234
◇民生費	
・緑町都営住宅建替えに伴う障がい者・子育て支援施設の建設	98,400
・重度身体障害者グループホーム補助事業	16,104
・障害者就労支援事業	17,406
・保育園耐震補強工事	65,127
・認証保育所の新設	57,025
◇衛生費	
・武蔵野赤十字病院増築財政支援	200,000
・地球温暖化対策工事(二酸化炭素排出削減)	24,276
・太陽光発電設備の設置	31,091
・PCB廃棄物処理事業	29,769
・環境まちづくり協働事業(仮称)	3,000
◇商工費	
・武蔵野市観光推進計画(仮称)の策定	6,798
・武蔵野観光マップ(仮称)作成事業	1,200

◇土木費

・公園等建設事業	744,875
・仙川水辺環境整備事業	9,500
・東京の森林保全と活用	12,495
・鉄道連立立交差事業	591,482
・都市計画道路3・3・23号線	5,000
・区画道路整備事業(西地区)	22,000
・都道123号線拡幅整備事業(みちづくり・まちづくりパートナー事業)	112,255
・ムーバス運行事業	89,094
・建築物耐震診断助成等事業	9,121
・まちづくり条例(仮称)の制定	2,717
・まちづくり市民塾(仮称)の実施	1,555
・景観計画策定調査	4,000
・武蔵境駅周辺環境整備計画	7,500
・耐震アドバイザー派遣事業	7,875
・民間住宅耐震診断助成事業	2,900
・民間住宅耐震改修助成事業	10,500
・吉祥寺ランドデザイン策定事業	9,000
・吉祥寺共同荷さばき場設置検討	20,000
・公共下水道耐震化工事	244,500
・上水道耐震化工事	571,255
・緊急浸水対策事業	80,955
◇消防費	
・地域防災計画修正業務	7,092
・家具転倒防止金具取付普及事業	25,000
◇教育費	
・小学校耐震補強事業	231,990
・小学校校舎緑化事業	7,457
・第五中学校耐震補強・保安・リニューアル工事	252,735
・境幼稚園耐震補強事業	46,280
・中学校給食のあり方の検討	8,780

総括質疑

市長交代による前年度予算との違いは

問 平成十八年度予算は前年度予算とどこが違うのか。
答 新たな取り組みとして中学校給食の検討や調整計画を前倒

して策定するための予算を盛り込んだ。また、予算総額を前年度以下とする方針とし、事前に決定した新規事業等以外は認め

ないこととした。

問 調整計画策定のためのスケジュールは決まっているのか。
答 四月中に市報で委員の公募を行い、五月中に市民会議を五回程度開催し、十二月までに市民会議より提言をいただく予定である。

問 事務事業見直しのための第三者委員会の委員構成、設置時期を伺う。
答 委員は三名を学識経験者、二名を市民公募の五名程度とし、設置は五月以降を考えている。

問 本市の予算編成に市民参加を導入する考えはあるか。
答 予算編成に関して透明性、公開性を高めていくことが第一である。予算に市民、議員の意見を反映する仕組みづくりを検討したい。

問 固定資産税等の軽減について、平成十八年度はどのような準備を行うのか。
答 平成二十年年度実施に向け、公平性を前提として、本市の土地形態、所得形態を考慮した軽減策を研究・検討する。

問 減税補てん債より四億九千万円を借り入れるとしているが、いつまで返し続けるのか。
答 償還期間は二十年間であるので、最終年は平成三十八年である。

歳入

固定資産税等軽減のための検討は

問 固定資産税等の軽減について、平成十八年度はどのような準備を行うのか。
答 平成二十年年度実施に向け、公平性を前提として、本市の土地形態、所得形態を考慮した軽減策を研究・検討する。

問 減税補てん債より四億九千万円を借り入れるとしているが、いつまで返し続けるのか。
答 償還期間は二十年間であるので、最終年は平成三十八年である。

民生費

レモンキャブの移送地域拡大は可能か

問 レモンキャブの移送地域の拡大を検討できないか。
答 予約でいっぱい状態であり、地域を広げるのは難しい。

問 福祉型民間アパート借上事業は、今後戸数をふやす考えはあるのか。
答 今後ふやす予定はないが、建設中の都営緑町アパートの中に設置予定のシルバピアについて、東京都と協議する。

問 介護保険の七%助成制度を廃止するに当たり、激変緩和の経過措置をとらず、低所得者層のみ助成を行う理由は。
答 七%助成制度自体が介護保険制度発足にともなう激変緩和措置として開始されたもので、所期の目的を達成したと判断し、廃止する。

問 学童クラブとあそべえの統合・連携の今後の方針は。
答 どのような連携の方法があるのかを検討していきたい。

問 生活保護の受給世帯数や受給期間の傾向はどうか。
答 受給者は徐々に増加している。受給者の約四割が就労の難しい高齢者のため、受給期間が長期化する傾向にある。

問 本市が保管しているPCBの処理はいつになるのか。
答 昨年江東区にPCB処理施設が完成したため、平成十八年度中に処理できる見込みである。

問 武蔵野赤十字病院の女性専門外来の担当医師は女性なのか。
答 当初担当するのは男性医師だが、女性スタッフや施設の充実について考えていくとのことである。

問 高齢者向けのインフルエンザ予防接種は何人分の予算か。
答 一万二千二百五十人分の予算を計上している。

問 東京たま広域資源循環組合負担金が昨年よりも増額した理由は。
答 エコセメント施設の稼働等により全体で九千万円の増額となった。

問 クリーンセンターの建てかえについてどう考えているか。
答 現在実施中の機能状況調査の結果を踏まえ判断する予定だが、あと十数年はもつと考えている。

問 観光推進計画策定に際し、対象地域はどこか。
答 全市域を対象とし、それぞれ重点地区を定めていきたい。

問 吉祥寺において、三越、大塚家具など大型店舗が撤退することなどが、その経緯は把握しているか。
答 新聞報道以上のことは把握していない。

問 吉祥寺ウエルカムキャンペーンを吉祥寺美術館・吉祥寺シアターと連携させ、さらに活性化させる考えはあるか。
答 いずれも準備期間が必要であり、タイミングを合わせるのが難しいが、検討していきたい。

問 毎回高い倍率で人気のある市民農園で、農産物評会を行う考えはあるか。
答 農園にて育成状況を見る品評会の開催を考えている。

問 ムーバスのネットワークの完成をどのように想定しているのか。
答 本来の目的は交通不便・空白地域の解消だが、導入から十年が過ぎ、当初の目的を超えた広範な市民利用があるので、今後議論が必要だろうと考える。

問 自転車駐輪場の年間登録利用に市民枠を設ける考えはないのか。
答 近隣市では利用金額に格差をつけるなどの例もあるが、利用形態等も含めて検討していきたい。

問 境二丁目の旧郵政省宿舎跡地は、公有地拡大法による払い下げの打診が来たことだが現状は。
答 有償譲渡の打診は来たが、その時点で利用目的が定まらなかったために申し出なかった。現在は入札にかける意向だと聞いている。

衛生費

PCBの処理はいつになるのか

問 本市が保管しているPCBの処理はいつになるのか。
答 昨年江東区にPCB処理施設が完成したため、平成十八年度中に処理できる見込みである。

問 武蔵野赤十字病院の女性専門外来の担当医師は女性なのか。
答 当初担当するのは男性医師だが、女性スタッフや施設の充実について考えていくとのことである。

問 高齢者向けのインフルエンザ予防接種は何人分の予算か。
答 一万二千二百五十人分の予算を計上している。

問 東京たま広域資源循環組合負担金が昨年よりも増額した理由は。
答 エコセメント施設の稼働等により全体で九千万円の増額となった。

問 クリーンセンターの建てかえについてどう考えているか。
答 現在実施中の機能状況調査の結果を踏まえ判断する予定だが、あと十数年はもつと考えている。

問 観光推進計画策定に際し、対象地域はどこか。
答 全市域を対象とし、それぞれ重点地区を定めていきたい。

問 吉祥寺において、三越、大塚家具など大型店舗が撤退することなどが、その経緯は把握しているか。
答 新聞報道以上のことは把握していない。

問 吉祥寺ウエルカムキャンペーンを吉祥寺美術館・吉祥寺シアターと連携させ、さらに活性化させる考えはあるか。
答 いずれも準備期間が必要であり、タイミングを合わせるのが難しいが、検討していきたい。

問 毎回高い倍率で人気のある市民農園で、農産物評会を行う考えはあるか。
答 農園にて育成状況を見る品評会の開催を考えている。

問 ムーバスのネットワークの完成をどのように想定しているのか。
答 本来の目的は交通不便・空白地域の解消だが、導入から十年が過ぎ、当初の目的を超えた広範な市民利用があるので、今後議論が必要だろうと考える。

問 自転車駐輪場の年間登録利用に市民枠を設ける考えはないのか。
答 近隣市では利用金額に格差をつけるなどの例もあるが、利用形態等も含めて検討していきたい。

問 境二丁目の旧郵政省宿舎跡地は、公有地拡大法による払い下げの打診が来たことだが現状は。
答 有償譲渡の打診は来たが、その時点で利用目的が定まらなかったために申し出なかった。現在は入札にかける意向だと聞いている。

農業・商工費

観光推進計画策定の対象地域は

問 観光推進計画策定に際し、対象地域はどこか。
答 全市域を対象とし、それぞれ重点地区を定めていきたい。

土木費

ムーバスのネットワークの完成とは

問 ムーバスのネットワークの完成をどのように想定しているのか。
答 本来の目的は交通不便・空白地域の解消だが、導入から十年が過ぎ、当初の目的を超えた広範な市民利用があるので、今後議論が必要だろうと考える。

問 自転車駐輪場の年間登録利用に市民枠を設ける考えはないのか。
答 近隣市では利用金額に格差をつけるなどの例もあるが、利用形態等も含めて検討していきたい。

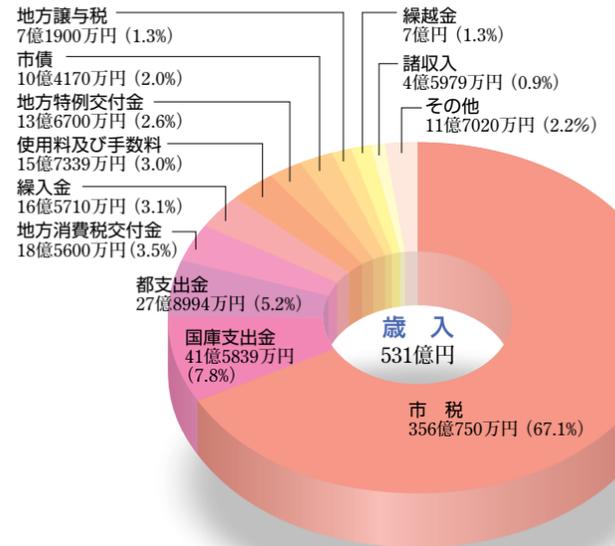
問 境二丁目の旧郵政省宿舎跡地は、公有地拡大法による払い下げの打診が来たことだが現状は。
答 有償譲渡の打診は来たが、その時点で利用目的が定まらなかったために申し出なかった。現在は入札にかける意向だと聞いている。



予算特別委員会の審査風景

予算特別委員会

平成18年度一般会計歳入歳出



近藤 和義 予算特別委員長

審査した特別委員

平成18年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎近藤 和義 ○砂川なおみ
- やすえ清治 島崎 義司
- 小林 清章 小野 正二
- 向谷 千鳥 本間まさよ
- 田中 節男 三宅 英子
- 松本 清治 川名ゆうじ*
- 桑津昇太郎 寺山光一郎

◎印 委員長 ○印 副委員長
*3月22日付で辞任

消防費

地域防災計画の修正について

問 地域防災計画の修正について、概要を伺う。

答 前回の修正から六年経過したことや、国の防災計画変更などを踏まえ、帰宅困難者対策や災害時の要援護者対策等を盛り込みたい。

教育費

中学校給食実施に向けた具体的な取り組みは

問 ランニングフェスティバルのねらいについて伺う。

答 中学生の体力低下を踏まえ、スポーツの楽しさを知ってもらう目的だ。生徒の関心、発達段階に見合う種目を検討する。

問 中学校給食は、どのような形で導入するのか。

答 食育の観点から、良質な昼食を弁当も選択できる形で導入できないか検討したい。

問 中学校給食検討委員会(仮称)

各特別会計

浸水被害対策工事業開始はいつ

＜下水道事業会計＞

問 貯留浸透施設を第四小学校、青葉公園に設置する浸水被害対策工事業の開始はいつか。

答 小学校は夏休みの施工を考えている。設計、業者決定など、四月より早急に準備に入りたい。

＜介護保険事業会計＞

問 国の制度改正により、利用者への介護区分に認定されるか不安を感じているが、市の対応は。

答 認定区分は介護時間数により決まる。利用者には認定区分についてお知らせを送付しており、四月には市民説明会を開催する予定である。

と長期計画の市民会議ではどのような検討を行うのか。

答 中学校給食の実施に当たった具体的な方法については検討委員会、中学生の食環境の充実、それに伴う中学校給食の位置づけについては市民会議で検討する。

問 境南小学校で導入される校庭の芝生化の目的と市民参加の機会について伺う。

答 環境負荷の低減と子どもの利用に適した校庭の環境整備の二つの目的がある。維持管理面でスポーツ団体やボランティアの方にもかわってほしい。

問 体験活動検討委員会の詳細について伺う。

答 三月下旬に設置し、セカンドスクールや移動教室の見直しについて検討する。夏頃までに中間のまとめを出す予定だ。

問 市内における青少年の居場所確保の必要性について伺う。

答 武蔵野プレイス(仮称)内に確保していくとともに、青少年を中心とした利用ができるよう運営の面でも工夫する。全市の中高生の居場所が確保できるように考えていく。

予算に対する各会派の討論

3月30日の本会議で予算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない山本議員の⑤に反対し、その他の予算に賛成する討論もありました。なお、各会派の構成は8面に掲載しております。予算特別委員会の詳しい内容は、こちらのURLでご覧いただけます。http://asp.db-search.com/musashino-c/ また、各市立図書館、コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーにおいても5月下旬以降会議録を閲覧することができます。

- ① 平成18年度武蔵野市一般会計予算
- ② 平成18年度武蔵野市下水道事業会計予算
- ③ 平成18年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算
- ④ 平成18年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算
- ⑤ 平成18年度武蔵野市介護保険事業会計予算
- ⑥ 平成18年度武蔵野市水道事業会計予算

市議会公明党

行政は継続が大事であり、改革は市政の安定がなければ進まない

小林清章議員

1 反対 2 3 4 5 6 賛成

特別委員会で配付した資料と異なる資料を一部議員に配付したのは、当委員会への冒瀆である。武蔵野プレイス(仮称)の隔地駐車が条例違反の疑いがあり、13億円削減案で政争の具と化した、市長の責任は重い。長期計画の見直しは、スケジュールに無理があり、見直す内容も曖昧で反対する。介護保険料の改定では、市民の負担増への理解を求め姿勢がない。速やかに議会の納得が得られる予算案の提出を要望し、一般会計予算に反対する。

日本共産党武蔵野市議団

市民が主役の市政を目指し、公約実現、市民の要望にこたえた予算を評価

向谷千鳥議員

1 2 3 4 5 6 賛成

市民が主役の市政の実現に向けて、長年の市民要望である中学校給食の実施に向けた予算が組まれたこと、介護保険の改定に合わせた所得区分の変更による低所得者への負担の軽減が図られたことなど評価できる。また、市民の安全を最優先する姿勢が貫かれ、雨水の貯留浸透施設の設置、全世帯を対象とした家具転倒防止金具の設置等の予算も盛り込まれている。武蔵野プレイス(仮称)についても十分な市民参加の上、検討されることを期待する。

市議会市民クラブ

市長の政治姿勢には問題がある

桑津昇太郎議員

1 反対 2 3 4 5 6 賛成

武蔵野プレイス(仮称)に関して、過去8年間の議論を踏まえていない削減案であること、隔地駐車場やコスト削減の根拠に問題があること、市長が議員への資料提供をめぐり、総務費の予算審査が空転した責任を引き受けられないこと、第四期長期計画調整計画の策定の手法とスケジュールに無理があること、市長・市役所交際費に対する市長の考えや、一連の市長答弁に一貫性がないこと等、市長の姿勢に賛同できないため、一般会計予算に反対する。

むさしのリニューアル

効率性・公平性を重視したスリムな予算

三宅英子議員

1 2 3 4 5 6 賛成

今後財政が厳しくなると予想される中、前年度比17億円減のスリム化した予算であり、トータルなまちづくりを踏まえた武蔵野プレイス(仮称)削減案、市長・市役所交際費の支出基準の明確化、補助金見直しの着手、豪雨被害への早急な対策など、これまでの市政の諸問題に対し、効率性・公平性、客観的等の基準から見直す姿勢を評価する。タウンミーティング等で広く市民の意見を聞き、問題点や市民ニーズを把握することを求め、予算案に賛成する。

自由民主クラブ

市民や市議会を軽視した予算には反対

田中節男議員

1 反対 2 3 4 5 6 賛成

武蔵野プレイス(仮称)に関して、与党議員への不正な資料提供や、基本設計変更について十分な説明を行わず、当初計画どおりの建設を求める陳情採択の市民、議会の意思を考慮しなかったこと、また、今後のまちづくりに重大な悪影響を及ぼす敷地外駐車場とする縮小案を予算計上したこと、さらに、第四期長期計画調整計画は策定方式やスケジュールに無理があること等、市民参加の名に値せず政策の決定にも重大な瑕疵があり賛成できない。

民主・市民ネット

納得できない予算には修正案を示すべき

松本清治議員

1 2 3 4 5 6 賛成

市長交代により、邑上色予算は531億円のうち0.3%に過ぎない。その一部に反対するのであれば修正案を示すべきと考える。今回の予算案は乳幼児医療費所得制限の撤廃、介護保険に10段階料金の導入、中学校給食実現への取り組み、早急な浸水対策など、市民生活への十分な配慮がされ評価できる。また補助金改革、武蔵野プレイス(仮称)、調整計画策定の期間などについて対案・意見を述べたが、それにより一部改善が図られたと考え、評価する。

一般質問

第1回定例会で、3日目、4日目の3月6日、7日市政全般について、15名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(5月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第1回定例会分は5月23日登録予定)でご覧いただけます。



※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。

<http://asp.db-search.com/musashino-c/>

児童虐待を防止する 早急な対策を

金子 武議員

問 ①児童虐待の相談体制について、夜間・休日にも対応しているのか②虐待を受けた児童を発見した際の市民の通告義務を周知する仕組みや啓発活動等について、本市の取り組みを伺う③児童虐待を防止するための課題は何か。

答 ①本市の子育てSOS支援センターでの電話相談は、平日・土曜は午後10時まで。休日の電話相談は都の児童相談センターで受け付けている②子育てSOS支援センター作成の啓発リーフレットを関係機関で配布している③親自身の子育て力をアップする取り組み、虐待の徴候を見逃さない地域での見守りが大きな課題であると考えます。

若者の雇用・就労問題 速やかなサポートを

向谷千鳥議員

問 現在、若年者の完全失業率は依然として高く、社会的格差の拡大や雇用の深刻な状況は、日本の存立基盤にかかわる問題だと考えるが、①市長の現状認識は②国や都に対する働きかけを伺う③ハローワーク三鷹と連携した就職面接会場の提供や、雇用問題を抱える青年の保護者に対する支援事業などを行うべきと考えるのがいかがか。

答 ①受け入れる側も問題だが、若者の姿勢にも課題があると認識している②必要に応じて要望していく③ハローワークとも連携し、必要性も含めて研究したい。

このほか、有料ごみ袋の負担軽減についての質問がありました。

「生涯スポーツ」の 視点で施設充実を

桑津昇太郎議員

問 スポーツ環境の一層の充実にむけて、①これまでなかった思い切りボール遊びを楽しめる広場を、生涯スポーツの場として設置していただきたいが所見は②老若男女を問わず楽しめるフットサルの専用コートを設置する考えはあるか③市内の子どもたちをスポーツ大使として国内外に派遣し、スポーツを通じた新たな交流を深めるべきと考えるのがいかがか。

答 ①条例上は公園となるので、他の利用者のことも考慮しなければならない②今後の課題だ③1つの切り口として研究したい。

このほか、本市東部地区のまちづくり等について質問がありました。

子育て支援施設の 充実を求める

井口良美議員

問 ①市長が選挙公約で30点と評価した子育て支援施設0123について、現場を視察しての評価は②西部地域には0123がないが、設置する考えはあるか③子どもの生まれた市民に出生体重分の市内産野菜をプレゼントすることを提案したい。

答 ①子育て支援施設として効果があると考える②西部地域にないことを踏まえ、今後調整計画の中で検討していきたい③ユニークな提案だ。ぜひ検討したい。

問 武蔵野消防署の建てかえを望むが、借地であり、地権者との交渉が必要では。

答 今後地権者ともお会いし、建てかえなどについて前向きに協議していきたい。



●4月1日から八幡町3丁目に、重度身体障害者グループホームRENGAがオープンしました。定員は5名で社会福祉法人武蔵野が運営する施設です。

市民ニーズを取り上げ、 広域的な自転車対策を

やすえ清治議員

問 市民要望の多い自転車対策であるが、①暴走自転車規制について、条例化を目指すのか②近隣他区市から本市への自転車流入も大変多いが、駐輪場対策、放置自転車対策、暴走自転車対策など、近隣自治体との協力が必要ではないか。

答 ①制度確立を考える中で、条例化についても検討したい②近隣自治体と情報を共有し、連携していきたい。

問 セカンドスクールに対する必要な見直しとは、具体的にどのようなものか。

答 10年間実施した中での日常の授業や他の課外活動との関連、教員や生徒の負担・不安など、全体を評価し改善を考えたい。

吉祥寺を安全で災害に 強いまちとするために

梶 雅子議員

問 災害時にコンビニやガソリンスタンドが、飲料水や地図等の提供を行う一時休憩所となる制度があるが、防災マップに記載するなどのPRをするべきではないか。

答 コンビニなどに限らず、市内各店舗への協力要請を研究し、広報も行いたい。

問 災害時に備え、大きさや配置が危険である置き看板への対策を求めるが見解は。

答 景観行政団体の認定を受けると、広告物に基準を設けることが可能となる。広告物を景観形成の視点よりとらえていきたい。

このほか、ハーモニカ横丁のトイレ改善、駅前広場に防災避難広場の機能を持たせること等についての質問がありました。

財政援助出資団体の 改革を進めるべき

三宅英子議員

問 財政援助出資団体について、①所有している土地の実勢価格を決算参考資料に掲載するなど、もっと財務内容をわかりやすく公開すべきではないか②職員の固定化を防ぐため、団体間で人事異動を実施できないか。縁故採用をやめるべきか。

答 ①公益法人会計基準等にとり、各団体が作成しているため、市は権限の範囲内で指導・監督していきたい②それぞれが独立した団体であるため、市の組織間で行っているような異動は不可能だが、団体間での合意があれば可能と考える。

このほか、建築確認業務や図書館と学校図書室の連携等についての質問がありました。

武蔵野プレイス(仮称) の抜本的見直しを

山本ひとみ議員

問 武蔵野プレイス(仮称)の基本設計見直しについて、①フォーラムをやめ、市民活動オフィスのスイングビルに移し、建物規模を地上2階、地下2階とした場合の建設コストとランニングコストは②公園面積を広げられないか③だれもが参加できる計画策定委員会を開き、市民相互の意見交換によって合意形成を図ることができないか。

答 ①そのような機能変更は予定していないため、コスト計算をしていない②広げることは考えていない③今後もオープンハウス*形式の説明会等を設けることを考えており、市民委員会の設置は考えていない。

このほか、福祉公社などの財政援助出資団体の改革等についての質問がありました。

*オープンハウス：市民が開催期間中自由に訪れて行政の担当者等から説明を受けたり意見を伝えることができる説明会のこと。



●4月3日より、市民ニーズに応えるサービスの一環として、市役所1階の戸籍住民課にフロアマネージャーが配置され、来庁者に対して窓口手続きをサポートしています。



●4月1日から2日にかけて、友好都市の富山県南砺市議会議員団の27名が、武蔵野市を来訪しました。一行は本市議会議員との交流のほか、桜まつりや吉祥寺シアター、0123はらっぱ、クリーンセンター等を視察しました。

人件費改革と市長の市政運営手法をたどす

島崎義司議員

問 本市の市税収入の約33%を占める公務員人件費の改革は必要不可欠な課題だ。人件費抑制に向けた事務事業の外部委託の方向性と、職員の給与システムの改善をどのように考えているか伺う。

答 外部委託は、計画的に実施していきたい。職員給与は、能力を評価した給与体系等の導入を、今後検討していきたい。

問 タウンミーティングのコミセンとの共催に至る経過など、市長の市政運営には強引な手法が目立つがどう考えているのか。

答 共催の呼びかけに異論は出なかった。このほか、公の施設内での配布物の基準等についての質問がありました。

高齢者福祉の経費増大への対応が必要

小野正二議員

問 高齢者人口の増加の加速に伴い、①高齢者福祉経費の増大にどのように対応するか②介護予防の充実や健康施策を行うに当たっての課題は何か伺う。

答 ①平成26年には高齢化率が22.2%になると予想されているが、健康づくりを一層進め、要介護度を進行させない取り組みを実施することが大原則と考えている②介護予防という視点での検証や体系づけがなされていないので、これまでの介護予防的な施策を見直し、新たな地域支援事業として体系化を図るべきと考えている。

このほか、防犯と市内の安全対策についての質問がありました。

市民ニーズの的確な把握 速やかなフィードバックを

桜井和実議員

問 市政における市民参加の機会をふやすとのことだが、最も大切なのは市民ニーズを把握し、社会情勢や費用対効果を踏まえ、的確に優先順位を判断することだ。今回導入された武蔵野プレイス(仮称)のオープンハウス、コミセンと共催のタウンミーティングという2つの市民参加方式について、①市民の反応は②出された意見や要望に対しどのようにフィードバックするのか。

答 ①おおむね好評だったと考える②意見等についてはホームページなどで回答し、参考にしていきたい。

このほか、旧桜堤小学校用地の利用計画等についての質問がありました。

行政評価システムを活用した市政運営を

川名ゆうじ議員

問 市役所改革を進める中で、本市の事務事業評価の役割について伺う。

答 職員の事務事業に対する意識の向上、市民の視点に立った成果重視の市政運営、市民への説明責任の確保を目的としている。今後は評価結果を予算編成や事務事業の見直しに活用していきたい。

問 本市が取得しているISO14001への今後の取り組みについて伺う。

答 事務量、経費の面で課題もあるが、環境に対する意識の浸透という面で成果もあり、今後も率先して取り組んでいく。

このほか、給食についての質問がありました。

CO₂削減に向け、積極的な取り組みを

砂川なおみ議員

問 リサイクルの推進、環境問題への意識の向上等の観点から、市内の大型施設、公共施設でのリターナブル容器を導入することが有効と考えるがいかがか。

答 学校給食では瓶牛乳を導入しているが、回収率、輸送距離等の条件による効果も踏まえ、可能性を研究していきたい。

問 給食の残菜の堆肥化の取り組みについて、今後の方針を伺う。

答 現在、本宿小と境南小で取り組んでいるが、食の大切さ、資源の循環などの教育的観点から今後も研究を進めていく。

このほか、アスベストについての質問がありました。

平成17年度「議会改革」検討結果について

武蔵野市議会では、議会運営の迅速化、効率化を図り、市議会をより市民にわかりやすく、身近なものにするため、議会運営委員会、各会派代表者会議、議会広報委員会の3つの委員会等で議会改革の検討を平成17年7月12日より行ってきました。

各委員会等で検討した結果、改革することになったもののうち、市民のみなさんに関わりのある項目について、お知らせいたします。

なお、平成18年度も引き続き議会改革の検討を行うことになりました。



議会運営委員会

- 1 議会日程をホームページ上で公表する日程を早めます。
- 2 一般質問において再質問の回数は4回までとし、一問一答方式も可能となりました。
- 3 請願・陳情の処理報告を結論がでるまで報告するよう執行部側に申し入れます。
- 4 国等に意見書(要望書)提出を求める陳情について、議場配付するのみで委員会へ付託しない扱いとするか、委員会へ付託するかを議会運営委員会で整理します。
- 5 同じ趣旨の質問について、質問した議員の意図を考慮し、必要な場合は議長、委員長がその発言を整理します。
- 6 盲導犬を伴って本会議、委員会、全員協議会を傍聴することが可能となります。

各会派代表者会議

- 1 市政調査研究費の収支報告に領収書の写しの添付を義務づけることになりました。
- 2 議長交際費をホームページ上で公開します。
- 3 「寄付行為にかかる申し合わせ」(平成17年11月25日)を行い、市の公式的な行事への祝電等を含む寄付行為等が禁止されていることを改めて確認しました。

議会広報委員会

- 1 各議員の議案等への賛否をホームページに掲載します。
- 2 ホームページへの市議会の予定などの情報掲載を早めます。
- 3 市議会のインターネット中継を予算特別委員会、決算特別委員会にも拡大します。
- 4 議会中継を録画した動画ファイルをホームページに掲載します。

第四期長期計画の調整 計画策定、責任の所在は

与座 武議員

問 市長が提案した、第四期長期計画調整計画の策定方法は、公募委員中心の委員会方式だが、最終的な責任者が明確でなく、見せかけの市民参加ではないか。

答 公募市民による市民会議と、専門家で構成するコーディネーター会議を設置し、取りまとめはコーディネーター会議にお願いするため、本格的な市民参加方式となる。

問 施政方針等で「障がい者」と表記しているが、平仮名にして障害者の生活実態が変わるわけではない。言葉遊びよりも障害者福祉施策の充実を優先すべきではないか。

答 「害」の字に悪いイメージがあるため平仮名表記とした。

市は福祉公社の法人税等未納問題の説明責任を果たすべき

きくち太郎議員

問 福祉公社の法人税等未納問題について、市民にどのように説明していくのか伺う。

答 市議会全員協議会、記者会見で事実経過、今後の課題、再発防止策等を公表してきた。今後、職員の処分についてもホームページなどで公表していきたい。

問 本市は、出生率が多摩26市の中で最も低い。少子化対策としても保育園の待機児をなくすことが必要と考えるがいかがか。

答 認可保育園の定員の弾力化、東京都認証保育所、保育室、家庭福祉員への支援等を行い、待機児減少に努めていきたい。

このほか、ムーバス、0123はらっぱの駐車場についての質問がありました。

議案等審議結果一覧

第1回定例会

【市長提出議案(38件)】

- 武蔵野市公平委員会委員の選任の同意について... 同意(全会一致)
武蔵野市職員共済会に関する条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例... 可決(賛成多数)
武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例... 可決(賛成多数)
武蔵野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市介護給付費準備基金条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市学童クラブ条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市福祉サービス利用料条例の一部を改正する条例... 可決(賛成多数)
武蔵野市立老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市障害程度区分認定審査会条例... 可決(全会一致)
武蔵野市国民健康保険条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市勤労者住宅資金融資に関する条例を廃止する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市国民保護協議会条例... 可決(賛成多数)
武蔵野市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例... 可決(賛成多数)
平成17年度武蔵野市一般会計補正予算(第5回)... 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回)... 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第1回)... 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第2回)... 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第2回)... 可決(全会一致)
平成17年度武蔵野市水道事業会計補正予算(第1回)... 可決(全会一致)
平成18年度武蔵野市一般会計予算... 否決(賛成少数)
平成18年度武蔵野市下水道事業会計予算... 可決(全会一致)
平成18年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算... 可決(全会一致)
平成18年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算... 可決(全会一致)
平成18年度武蔵野市介護保険事業会計予算... 可決(賛成多数)
平成18年度武蔵野市水道事業会計予算... 可決(全会一致)
武蔵野市教育委員会委員の任命の同意について... 同意(全会一致)
武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について... 同意(全会一致)
武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について... 同意(全会一致)
武蔵野市長に支給する給料の特例に関する条例... 可決(全会一致)
武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例... 可決(全会一致)
東京地方裁判所平成15年(ワ)第26775号損害賠償請求事件に係る和解について... 可決(全会一致)
平成18年3月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例... 可決(賛成多数)
平成18年3月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例... 可決(賛成多数)
平成18年3月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例... 可決(賛成多数)
武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例... 可決(賛成多数)
平成18年度武蔵野市一般会計暫定予算... 可決(全会一致)

【議員提出議案(3件)】

- 医療制度改革法案の撤回を求める意見書... 否決(賛成少数)
プラスチックごみの発生抑制の強化を求める意見書... 可決(全会一致)
武蔵野市議会への不適切な対応に対する問責決議... 可決(賛成多数)

全員協議会 財団法人武蔵野市福祉公社の法人税等未納問題について

2月16日に全員協議会が開催され、財団法人武蔵野市福祉公社が平成12年度から16年度分の法人税等を期限後申告し、加算税、延滞税を含めて約9,800万円を期限後納付したことに... 市より説明がありました。

陳情審議結果

- 北町地区水害をなくす施策実行に関する陳情
武蔵野プレリス(仮称)の実施設設計に関する陳情
意見付き採択
介護保険法の改正に関する陳情
継続
旧農水省跡地利用計画について市民への説明会開催に関する陳情
農水省跡地利用施設事業にかかわる議論・検討に関する陳情
「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
武蔵野市長が内閣総理大臣に、「市民の生命を守るため一刻も早く浜岡原発全基を止めよ」の要請書を提出することに関する陳情
障害者自立支援法に関する陳情
公共工事における公契約法(条例)の制定に関する陳情
三小・本宿小地区の通級学級設置検討に関する陳情
吉祥寺東町二丁目全域とその周辺ゾーンの小路の抜本的交通対策に関する陳情

1面写真募集要領 次回の締切6月16日

- 規格: 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁止。未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は、返却いたしませんのでご了承ください。
著作権: 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
期限: 6月16日(金)当日消印有効
添付書類: 撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
宛先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
問い合わせ: ☎0422-60-1883

第一回定例会で可決された議員提出議案は二件で、意見書は政府・国会へ提出されました。その要旨は次のとおりです

意見書

プラスチックごみの発生抑制の強化を求める意見書

容器包装リサイクル法の目指すところは、循環型社会形成推進基本法で示されたリデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)という3Rの優先順位を果たすための一端を担うことである。また、廃プラスチック類について「まず発生抑制」「次に再生利用」と環境省は基本方針を述べているが、発生抑制できる仕組みやマテリアルリサイクル(材料再生利用)によるリサイクル)しやすいように材質の統一を図ることや、リユース容

器を復活させて環境負荷を軽減すること等具体的な方策をさらに検討し実現すべきと考える。廃棄物問題を含めて地球温暖化が地球規模で話題となっている昨今、法改正の視点はごみになるものを減らす発生抑制に最も力を注いだものでなければならぬ。よって武蔵野市議会は、容器包装リサイクル法改正に当たって、とりわけ容器包装プラスチックの発生抑制と環境負荷の少ない資源化の推進が実現するよう求め、サーマルリサイクル(熱利用によるリサイクル)のみに流れることのないよう強く求める。(環境・経済産業・農林水産大臣、衆議院・参議院議長)

決議

武蔵野市議会への不適切な対応に対する問責決議

鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会の審議に関して、検討段階の資料を一部特定の議員に対して事前に提供していた件と、そのことにより、予算特別委員会を長時間にわたって空転させたことについて、市長より予算審議、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会、及び全議員に対し、多大な迷惑をかけたとの陳謝の言葉があった。しかし、邑上市長からは責任の明確化、処分についての言及はなく、先の福祉公社の消費税等未納問題にかかる処分比べても著しく公平性を欠き、行政の長としての判断には大きな問題がある。よって、助役、市長自身の責任に対する処分の明確化を求める。

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の1つの基盤となります。(氏名は議席番号順、電話番号は会派控室(市役所7階)の直通電話番号です。)

自由民主クラブ TEL60-1884
やすえ 清 治 きくち 太 郎
島 崎 義 司 近 藤 和 義
鈴木 有 臣 田 中 男
井 口 良 美 石 井 一
金 子 武

民主・市民ネット TEL60-1889
松 本 清 治 砂 川 なおみ
川 名 ゆうじ 深 沢 達 也
露 木 正 司 水 野 学

市議会市民クラブ TEL60-1885
山 下 倫 一 土 屋 美恵子
与 座 武 桑 津 昇太郎
寺 山 光一郎

市議会公明党 TEL60-1887
小 林 清 章 小 野 正 二
田 辺 あき子

日本共産党武蔵野市議団 TEL60-1888
梶 雅 子 向 谷 千 鳥
本 間 まさよ

むさしのリニューアル TEL60-1890
三 宅 英 子 大 野 まさき

無会派議員 TEL60-1886
桜 井 和 実

無会派議員 TEL60-1909
山 本 ひとみ

議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。

TEL 0422-60-1883
E-Mail OFC-GIKAI@city.musashino.lg.jp
HomePage http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/